

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：京田辺市

1. 平成29年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	本市は111の建築物施設や道路、橋梁、公園、上水道、下水道などのインフラ施設を保有しているが、公共施設等の多くは経済成長期に整備されたものであり、老朽化が進んでおり、効率的・効果的な施設運営の在り方や施設の長寿命化が求められている。また、本市では、これまで小中学校の耐震改修など、市民の安全安心のための施策を最優先で実施してきたが、第3次総合計画に掲げられた各種施設の整備が必要となっている。		
	必要性	経済成長期に整備された既存公共施設の老朽化に伴う維持管理コストや今後直面する高齢化による医療介護費用の増大などを見据え、効率的に施設整備を進めるとともに、限られた資源を活用し、効率的な行財政運営を行う必要がある。		
	概要	京田辺市行政改革推進本部において新行政改革実行計画のプログラムの進捗状況や成果を把握しながら、市有財産の活用などの自主財源の確保、歳出の抑制、事務事業の効率化及び適正化、民間委託の推進、職員の能力を発揮できる環境づくりに取り組み、効率的な行財政運営に取り組む。		
	効果	ごみ処理施設について、枚方市との広域化により後継施設の建設に係る市負担分の軽減を図る。さらに公共施設の長寿命化による修繕コストの縮減を図る。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
広域連携事業支援	ごみ処理施設整備事業	一部事務組合（枚方京田辺環境施設組合）を設立した。	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地造成基本設計業務に取り組んだ。 ・一部事務組合（枚方京田辺環境施設組合）を設立した。 ・一部事務組合による環境影響評価業務（配慮書手続）に取り組んだ。 ・京都府条例に基づく方法書を府へ提出するとともに、住民説明会を開催（計4回）した。 ・枚方京田辺環境施設組合可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業者選定委員会を開催した。 	本市が単独で同等のごみ処理施設を建設する場合の全体事業費と比較し、大幅な歳出抑制が出来る見込である。

（記載要領）

- 1 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 2 「主な実績数値（出来高数値等）」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。